資　料　編

1. 連携計画策定のための調査方法

地域公共交通総合連携計画を策定する上での検討フローを以下に整理する。

富士宮市の概況及び上位計画の位置づけ
富士宮市の地理的条件や道路網の状況、人口分布、施設立地などの地域特性を把握・整理する。

地域公共交通の現状
新たな公共交通体系の構築に向け、路線バス、宮バス、宮タクなどの運行の経緯や背景、運行状況などを把握する。

利用者意向の把握
路線バス、宮バスなどの利用状況の把握のためOD調査を実施する。また、アンケート調査などにより利用者の意向を把握する。

市民意向の把握
市民の公共交通に対する意向を幅広く把握するため、アンケート調査を実施する。

観光客の動向調査
観光目的で富士宮市を訪れた方の交通手段などを整理する。

↓

富士宮市における地域公共交通の課題の整理
交通の現状やニーズなどを踏まえ、富士宮市における地域公共交通の問題・課題を整理する。

↓

公共交通の課題への対応
地域公共交通の問題・課題に対応するために、富士宮市の公共交通のあり方や具体的な方策を「地域公共交通総合連携計画」として取りまとめる。

↓

富士宮市地域公共交通総合連携計画の策定

↓

新たな地域公共交通の実施計画の策定
「地域公共交通総合連携計画」を受けて、新たな公共交通の運行に向けた実施計画を策定する。

↓

新たな公共交通の運行